

令和7年度 青森空港土木施設維持管理業務委託 業務概要説明書(1/2)

(債第1号)

事業概要		
工事内容	事業費	<p>インフラの維持管理を取り巻く環境は、人口減少や高齢化などに伴い、特に機械オペレーターなどの人材確保が年々困難となってきた。そのような中、高い除雪技術が必要とする空港除雪(ホワイトインパルス)においても、技術伝承や担い手確保が喫緊の課題となっている。</p> <p>そのため、青森空港土木施設の維持管理について、昨年度に続き、土木施設維持管理・空港除雪・除草・舗装補修を統合し包括的に委託することで、施設維持体制の安定化を図るものである。</p>
施工数量 N=1式		
①除雪作業業務(春除雪、冬除雪)	N=1式	C=602,000千円
②土木施設維持管理業務	N=1式	
③着陸帯外植生維持管理業務	N=1式	
④滑走路外舗装補修業務	N=1式	

業務範囲

【凡例】

業務範囲:

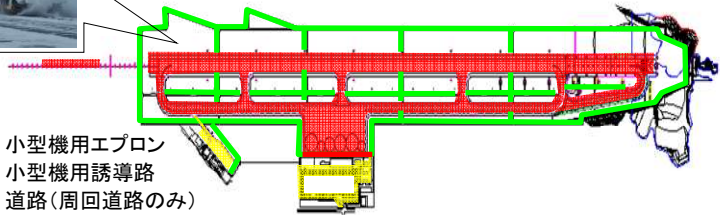

業務範囲外:

令和7年度 青森空港土木施設維持管理業務委託 業務概要説明書(2/2)

(債第1号)

業務内容

①除雪作業業務(春除雪、冬除雪) C=456百万円



第一優先

第二優先

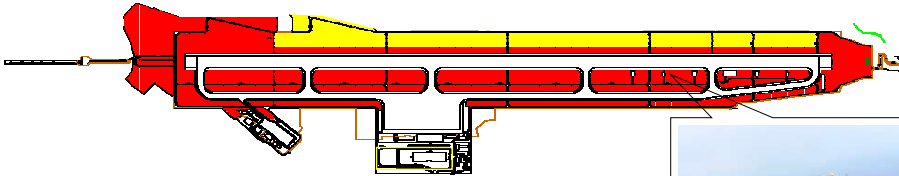
第三優先

小型機用エプロン
小型機用誘導路
道路(周回道路のみ)

場周道路
保安道路
皿型排水路

航空機の運航に支障が出ないよう、離着陸の合間で除雪作業を実施する。


③着陸帯外植生維持管理業務 C=55百万円



凡例

早朝作業(時間制限あり)

昼間作業(時間制限なし)



滑走路等舗装区域以外の着陸帯は、降雨等による着陸帯表面の浸食防止、航空機のプラストによる土砂等の飛石防止および着陸帯の支持力確保のため、植生により緑化しており、制限表面、保安管理・飛行場面管理上の観点から、春と秋に草刈による植生維持管理を行う。

②土木施設維持管理業務 C=79百万円

有刺鉄線

飛行場標識

エプロン補修

引き直し

張り直し

補修合材による補修

緊急時の空港土木施設の応急対策(小規模な舗装欠損補修等)のほか、飛行場標識の引き直し、保安管理として、有刺鉄線補修工、電気柵設置撤去工、車両侵入防止ガード設置撤去工を実施する。

④滑走路外舗装補修業務 C=12百万円

滑走路

ターミナル地区

舗装欠損

亀甲クラック

滑走路・誘導路・保安道路、ターミナル地区の舗装は、航空機の離着陸及び走行、除雪車両や給油車両の走行等も含め、経年劣化が著しいため、舗装補修(舗装打換工、クラック注入工)を実施する。